

# 人にやさしく！

校長 新居崎 杉彦

## 丹小いつも考える8つの習慣⑥ 「みんなの力を合わせることを考える」

いよいよ今年も残すところ1ヶ月足らずとなりました。今子どもたちは、2学期のまとめに取りかかりながら今年一年間の締めくくりもおこなっています。本校では、今後も感染症対策を徹底させながら、子どもたちが元気に活動できるように支援していきたいと思います。皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

さて、今回のテーマは、丹小「いつも考える8つの習慣」その⑥「みんなの力を合わせることを考える」です。

今日の朝会で次のようなことを話しました。

「人はみんな、得意なものや苦手なものが違います。人の前でしゃべるのが好きな人もいれば、苦手な人もいますし、何かアイデアを出すのが得意な人もいれば、こつこつと続けることが得意な人もいます。例えば、今度の『わくわくまつり』では、どのクラスも何か楽しいことを企画してくれると思いますが、学級で友達と何かをやるときは、『みんなの力を合わせることを考える』ことが大切です。」と話しました。「ひとりではできないけれど、みんなと一緒にならできる」、子どもたちひとりひとりが、まわりに感謝する気持ちをもって、さまざまな取組の中で力を合わせて活動してほしいと思います。

ご家庭でも、保護者の皆様の経験も含めて、子どもたちにみんなで作り上げる楽しさをお伝えいただきますようよろしくお願い致します。



5年生 稲刈り体験の様子

## 全国学力学習状況調査結果について②

前回に引き続き「全国学力学習状況調査」の「子どもの意識」について、その概況をお知らせします。

アンケートの「将来の夢や目標を持っている」には8割以上の児童が、また、「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」には、9割近くの児童が「そうしている」と答え、全国平均を上回っていました。



また、9割以上の児童が「人の役に立つ人間になりたい」と答え、「自分にはよいところがあると思う」と答えた児童は、昨年の6割から9割弱となり、非常に肯定感の高い結果となりました。更に、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」には、9割以上の児童が「そう思う」と答えることができました。

その反面、「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している」や「自分で思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができる」と答えた児童は全体の5割強で、児童の積極性や自己表現力に課題が見られたため、今後、改善に力を入れていきたいと考えています。



## 秋の校外学習

秋の校外学習で、1・2年生は「平成榛原子どものもり公園」、3・4年生は「龍王山」、5年生は、「うだアニマルパーク」へ行きました。少し雨模様の学年もありましたが、どの学年も予定通りの行程で実施することができました。

昨年は、感染症のため徒歩での校外学習になりましたが、今年はバスを利用して計画することができ、それぞれの学年では、友達との絆を深め、思い出に残る一日となりました。今後も、このような体験を学校生活やなかまづくりに生かしていきたいと思っています。

## 6年生 修学旅行2021

10月28日(木)～29日(金)に、6年生は淡路島・姫路方面に修学旅行に行きました。1日目は「うすしおクルーズ」に乗り、鳴門の渦潮を見学し、午後からは、阪神淡路大震災の勉強で「野島断層」へ、最後に慶野松原で海岸を散策しました。2日目は、「姫路セントラルパーク」を訪れ、動物がいっぱいの「サファリパーク」と楽しいアトラクションがある「アミューズメントパーク」を思いっきり満喫することができました。

6年生には、本当に心に残る修学旅行となりました。残りの小学校生活も有意義に、最後までみんなで仲良く過ごしてほしいと願っています。

